



洛星新聞

発行所

ハイアール学園

洛星中学校



洛星中学校

新聞部

保護者会に於ける談話

ホワイト校長

今日は皆様お忙しいのはわざわざおいで下さいまして、有難うございます。お子さんの勉学を熱心に御覧下さいましたことを感謝いたします。これからお子さんの教育に關して少しお話ししたいと思います。此の同の職員会のごとき私は先生方の生活は非常に單調であると申しました。というのは、毎日おなじ時間に学校へ来て、おなじ時間に教室にはいり、同じようなことを毎日放りていくからであります。特に行儀の点については、一日の間は何回も何回もくりかえして、生徒に注意をうながしているからであります。教育という仕事は本当に單調であります。決して目立つような変化はないのであります。皆様の家庭に於てお子様の教育をなさるとき、このことを御経験になつたと思ひます。大ていの子供は、親から一度や二度注意をうけただけでは立派な習慣を身につけることは出来ないのであります。

然し私たちがこの面白くない單調に打ち勝つて、生徒によい習慣をつけるように、毎日努力してゆかなければならぬのであります。心理学者は「習性」となるものといつてゐます。それは習慣は性質とおなじようなものであります。皆さんはもうよく御存じの筈ですが、本校には守らなければならぬ規則がたくさんあります。此等の規則は勿論生徒を苦しめるためではないのであります。之を守ることはよつて、よい習慣を身につけるためなのであります。よい習慣は中々身につかないものですけれども、悪いくせにはそりやすいものであります。

皆様のお子様が社会に出て、周囲の人々に愛され、親しまれ、尊敬されるような人物になるには、よい習慣をもつた立派な人物者にならなければならぬのであります。そのよい習慣を持たせるためには、どんな方法をとつたらいいで

しようか。それに対して私は次の四つの提案を致したいと思ひます。

第一に、皆さんは愛するお子孫により習慣を持たせなければならぬと云う確信をお持ちになつて下さい。第二に、あらゆる機会をとらえて、即時実行して下さい。

第三に、例外を絶対に許さないで下さい。即ちどんな些細なことでも此の目的に反することは許してはいけなひのであります。

第四に、こうして実行し始めれば、立派な習慣になるまで続行して下さい。

本校では私はじめ先生たちが総かりき、生徒により習慣をつけるために、毎日々々努力しておりますけれども何しろ生徒の学校に居る時間には、家庭に居る時間の半分ですからいくら学校で緊張していても、家庭でわがままにするのを許しますと私達の努力は無駄になつてしまいます。学校に來ては、羊になり、家に帰れば、狼になるようなことは、絶対にさせてもらいたくないのであります。生徒のうちに狼は一匹もいませんから、家庭にも一匹もいない筈です。然し実のところは、羊はおとなしくなければなりません。と云うのは、今ある規則はピンチに陥つてゐると思ひますから、学校の方針を家庭でも、必ず実行

させるように御協力をお願い致します。而して、善にも、惡にも感じ安

い、此の最も大切な時期に於て、よい習慣をつくと共に、規律正しい勉強によつて、天主様から与えられてゐる各自の才能を充分にのびして、將來社会のために役立つ偉大な人物をつくるために、私達は協力して下さい。最後には皆様のお子孫方が現在もつてゐる習慣が將來の生活に明るくするが、暗くするかの錢であることを強調しまして、此の話を終りたいと思ひます。

恐しいお便りをしなればならぬことを残念に存じます。それは先達で、窪田さんのお母様と、佐竹さんのお父様が、おなくなりになつたこととあります。ついでには私達は心から御冥福をお祈りしたいと存じます。



ナドウ副校長

校長先生が、今、申されました様に、学校の規則の目的は、生徒をおさえるのではなくて、寧ろ、生徒に色々な良い習慣を身につけさせることと云ふので、立派な人格をつくるためであります。人格者と云ふものは若い時代から、多くの良い習慣をつ

くる様に努力した人達であります。實を云へば、これこそ、本校の特徴なのであります。

勿論、治世中学校は、学校ですら、先生達はみんな全ての生徒は出来るだけ学科が進歩する様に努力を盡しておりますけれども、勉強よりも、生徒の自覺的な訓練のほうが大切であると思つております。何故ならば、教育の究極の目的は、生徒自身及び社会の真の幸福を増進することとあります。ところがこの目的を達するためには、單なる知識では不十分なのです。只知識のみでなく、自分の戒徳をおさえ、他人に迷惑をかけないで、自分を犠牲にして他の人を援助する人こそ、自分自身に幸福であり、又他人をも幸福にする人なのであります。

ですから、教育の重要な目的は知識を身とするとともに、生徒の心を訓練すること、つまり、生徒の意志を強めて、自分の戒徳を堅持とおさえる様な精神的な力をほすこととあります。

この訓練をどの様にして生徒に与えるかと云へば、それは、学校の規則によつてであります。規則の多くの点は、生徒の戒徳を保持に直接に及ぼしてゐるので、規則をよく守るために、生徒は飽え間ない積極的な意志の努力を出さなければなりません。

人。そのすることによつて、意志の力が強くなり、反例して又まゝには段々弱くなつてくるのであります。

規則には、色々あります。静寂と整向を敬守するばかりは、例へば、整潔清潔にいつての規則があります。皆、御存じの様に、生徒を勝手にさせましたら、整頓清潔を守る生徒は殆どなくなつてしまつてしまうので、それから整頓清潔のことをやがて云つて、教室靴箱服を毎々検査して、その結果によつて点数をつけるのであります。

それから礼儀作法のことや、ましく云つております。正しいおじぎの仕方とか、正しい言葉使いとか、昔に先生達は教へつけております。整頓清潔、礼儀作法の様な習慣は、皆、御存じの通り、若い時代につけないならば、彼で殆どつけることは不可能であります。

生徒は毎日、この規則を出来るだけよく守るならば必ず立派な人格を形づくるのであります。規則を守るように励む努力は、遂には、必然的に立派な結果をもたらすものであります。

今生徒の人格の訓練を強調しておりましたけれど、その意味は先生達は一私達は皆、皆様のお子さんの勉強

をとおるゝと云うわけではありません。勉学と訓練を同時に進歩させるようするのではありません。そして、規則を守るのには、勉学の邪魔になるのではなくて、寧ろ勉学は非常な役に立つのであります。例えは、生徒が規則に従つて、教室に於いて静粛を守つて、先生の説明をよく聞いとすれば、能力が普通でも、勉学が進歩せねばならぬのであります。

この生徒の訓練の必要は、皆さんがよく理解して、その点について、学校と常に協力して頂きたいのであります。何故なら、もし父兄のたゞ勉強を重んじて、お子さんの行儀のことについて無頓着であるならば、学校が困るばかりでなく、生徒自身に大きな損を与えることとなります。ですから、皆さん、うちで子供に、規則がいかに大切であるか、と云うことを何故規則を守らなければならないか、と云うことをよく説明して下さい。そうなるならば、子供にとつて学校の生活が楽しくなり、従つて、大きな利益(利益)をもたらすことになるのでしよう。

おわりに皆様が私達にかけていらっしゃる御期待と御信頼に価するよう責任を担ひますように全能なる天主様の御人となすれと皆様の御協力をお願い致します。有難うございました。

父兄会

第一期の父兄会が去る六月六日(二年生)と十三日(一年生)との両日に大々庄記のホールで開催せられ多数の熱心な保護者の方々が見えられ盛會裡に行われました。

父兄会プログラム

- 一 朝 礼 一 訓育主任の話
- 一 授業参観 一 合同体操
- 一 音楽 一 台詞係の話
- 一 校長の挨拶 一 各学科担任教師の話

作文

懸賞



何故生徒心得を守ら

なければならぬか

一 号

二年A組

松本清人

学校の帰りの事について、僕は市電

二等

二年A組

寺田明敏

僕達は立派な社会人としてくれるものだ。

苦しい苦しいと思ひながら生きてきたけれども、規則、ある生徒心得は、こんな僕達をよくしてくるものだ。

守ろう守ろう生徒心得。 終り

何故生徒心得を守らねばならぬかを知る為には、先ず生徒心得とは、どんな目的を持つていふかを知らねばなる。何故ならはその物の本質を知らないと、それを利用することは、きわめて危険であり、何故生徒心得を守らねばならぬかには、それはその生徒心得の目的を見ようとする為であるという答えが必ず出来るからである。

生徒心得の持つ目的、其れには大きく分けて二つあると思う。

一つは、現実の事で、勉強の能率の向上とか、学校の秩序を保つ事であり、もう一つは将来の事で、人格形成、よい習慣、自己の欲望をおさえる意志の力をつけ、自分の目的を果す力をつける為であらう。

何故生徒心得を守らねばならぬかは、先にあつた目的を究めて見る

だ、と思います。戦後の日本には、討論、会談、談話、演説など、いわゆる表現討論の自由と、ラヂオ、新聞、テレビなど、いわゆるマス・コミュニケーションの発達のために、このようなことはついにへの及者が、さかんに行われ、「言葉の使い方」とか「あなは上手に話せる」というような話だが、たくさん出されていきます。またラヂオでも、「この研究室」の時間があったら、お話をしたい、毎日のことはへの及者を、うながしてきます。

しかし、われわれたちが、毎日毎日、朝いなり、見たりするようには、日本語を少しでも美しく、少しでもわかりやすく、という努力は、まだく足りないのです。なぜでしょう。昔から、今まで、日本人は、おいぶん、複雑な敬語を使い、これはの言いまわしに、こまかい気づかいをしてゐるのだ。この問題に対する答えは、いろいろあるかと思いますが、その一つだけを言うならば、こういうことではないか、と思ふのです。

それは、日本人全体が、こころの美しさ、こころの深さ、に對する反省を欠いており、また、ひとりよがりでない、こころの広さ、こころのゆたかさを、十分に持つてゐないからである、ということだと思います。少しづつかしく言えば、精神生活の貧しさ。

日本人全体として見ての、精神生活の貧しさ、が、美しいことは、わかりやすい日本語を生み出すことを、邪魔している、と思ふのです。もちろん、個人としては、たいへん、すむれ人も多いのですけれども、全体として、日本人は、そして、従つて日本語は、まだく、欠点だらけではないかと思ひます。「美しく、わかりやすい現代語」のないことも、その結果のあらわれの、一つかと思ひます。

「言うなれば、めちやくちやくでござりまするが、おどろきりやアア、ハハ、おどろきりやア、どうで、え、ハハ、おどろきりやア、なんて、つまらぬはやりことばに、身をおどろき、とくにはなるような悪いしさを、早くわれわれの社会から、取り去りたい、と思ふのです。そんなものが、流行する社会だから、総理大臣が「バカヤロ」などと、国会で口はしつたりするのでしよう。單なる、ことばの外形だけの、言いまわしや、丁寧さ、だけでなく、こころのあらわれとしての、美しく、わかりやすい日本語であつてほしいと思ふのです。

「日本のことば」に對する、一つの、さ、やかな希望と、反省であります。

遠足

一年A組

大原 謙 一 郎



文 作

この前の遠足の予定はくまらまじつたが、あいにくその日雨が降つて中止になった。このため、日が少し延び、行く先は仁川に変わった。

ほんの少し予定よりおそく出発したバスは、京阪国道をつつ走り、大阪の町を通りぬけ、やがて六甲山が見えぬ。甲山の赤茶けた頂上が見えてきた。バスからおりて、あと何メートルというたてふたに近づき、ふたは、はさまれたついで、よくうよう池へたどりついた。

舟をたべておよいとおゆるしがでると、僕らは安易の場所目指して川の方へ行く。川岸の松の木の下の

へんとうを開く。

岡が四方をキウキウと鳴る。他の人々は、時をみてた向側で遊んでゐる。

べんとうがすむ。

すんでしまふとなにかのたりのない、もつとたんとあられさすと思ふ。

池の向岸にうみき屋がある。どうしても、飲みたいと思ひ、先生にききに行つてもらつた。

おゆるしがした。僕たち五人は走つて行つてのんだ。せんをゆくとあわがシューッとこぼれるのが気持ちよい。

再び松の根本に集まると、先生がボートにのつておられるという情報が入つた。

「ソレッ」

とばかり僕等は山の向側へ走つて行つたが、池の上にそれらしいものは見えなかつた。

集合時間のすぐ前でもあつたので、池畔の家へは帰らなかつた。

笛が鳴つた。

集合して又行進した。

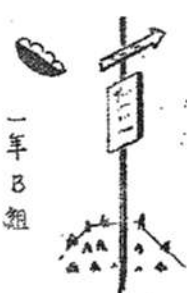
そろそろ飲料水は不足してきた。歩いてゐるうちに、水を飲んだようにのがかかいてきた。

水はもうない。みかんもない。木の葉には露もたまつていない。あえさながら強行軍だ。一歩、又一歩、

歩くうちにはたまにすずすずあわく。やうとこのことと取患の状に付いた。やうと水にありついた。冷たい水がのどをくすぐる。飲みおわつて一つ大きく息をついた。

今日は本当にたつた。

早くおよう。



一年日組

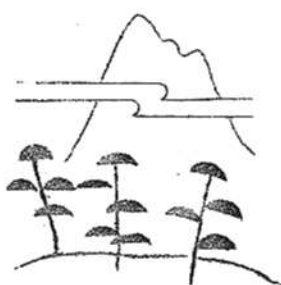
小西伸幸

バスにゆられて約二時間、私達は宝塚の近くの仁川に付いた。バスを降りると少しよつたらしく頭がいたかつた。

「ハイキング・コース」と言う立札がいくつも木にかかつているのが目についた。しかしハイキング道にしてはききなく、木かげが深く、暑くて、少しも遠足らしい気分が出なかつた。

やがて山道はさしかかった。山はだか茶色く太陽はきらきらしていた。伊丹飛行場から飛立飛行機が、景色にかがやいて見えた。頂上に着くと同じ位の高さの山が続き、其の頂上をぬつて道が走っているのが茶色く見える。下の方に見える町は本

当に小さくつた。時々うぐいすの音が聞える。それから約三十分ほど歩いて五ヶ池に着いた。そこで一時間三十分の休憩時間をもつた。目的の寺の時間である。母につくつてもらつた「すし」を腹一杯食べる事が出来た。暑かつた事も、山登りをつかれた事も、みんな「五ヶ池」が吸い込んだ様な気分であつた。帰りのバスは小沢先生との話に、つかれる事がなかつた。



山のぼり

山田宗二郎

皆さんは、音楽の教科書第一頁に「中学生のみなさん」と題して左の如く書かれている事をおぼえているでしょう。

音楽を楽しみましょう。

音楽の理解を深めましょう。

音楽の教養を身につけましょう。

よい音楽が私達の心を幸福に、ゆたかにしひいてはそれは社会の健全な発展につながるという事は、その「又」の中に判然とみる事が出来るのです。

しかしながら、これが本当に良い音楽であるかと言う事、又その良い音楽の本当の良さが分るという事は仲々むづかしい事であります。その人がもっている音楽の理論的な知識、教養、体験、それらのものがバックとなつてその人なりの音楽を感じてゐる訳なのです。

それです。今言った様な事をより多く身につけた人程、同じ音楽に對してもより深い理解を持つ。より高い楽しみを得られるのです。

最近のラフエルの放送を聞いても、又一寸送を歩いていても、耳に入つて来る音楽の大部分が、音楽の永い「足」の間に私達の先輩が大いなる尊敬と讃美を以て伝えられた音楽ではなしに、所謂低俗な、刹那的なものである事は、悪いとは言えませんが、歌がわしい事であります。それらの低俗なものは確かに面白くはしよう。それらは人間の弱点をたたくみにとらえているからです。それらは殆んど何の準備も体験も教養もなしに楽しい事が出来るでしょう。それはその程度の価値しかもたぬ低俗なものであるからです。自分を粗末にし、何等

向上をめざさぬ人は、その得る処の楽しみも価値の浅いものである事に気がつくのではないでしょうか。少くとも自分の一生を大切に、より良いもの、より高いものを求めて行く人ならば、価値の高い楽しみを得るために努力をおしなくてはなりません。

皆さんは山登りをしたことがあるでしょう。その山が高く険しいに登る事は並しいものです。しかしながら、その山頂を究めた時の喜びは、それだけ又格別です。都念に居てはその塵埃からの加えられないでしょう。低い山では眺望がきかぬでしょう。高山に登つてこそ始めて雄大な眺めに接し、又低地で見られぬ高山植物をも発見する事が出来るでしょう。そこには達するまでの苦勞を厭つてはなりません。高山をえらび、そして到着は遅くとも、絶えず頂上に向つて一歩々々前進を続けましょう。



山田先生の

ワイオリン独奏

を聴いて

山田敏雄

この間松達は聴衆に集まり、山田先生のワイオリンを聴かせて頂きました。おそらく、皆はあの時の感激を忘れられないうちに居るでしょう。トウナル・サークのユーモレスク、ムソルタスキのゴパツ、歌劇タイスの音から冥想曲・メンデルスゾーンのワイオリンコンチエルトの四曲。

先生は私達に解りやすい名曲を選んで下さいました。君達があの感激の中にとけこんで居る時、先生の指の動きと感情をはなして眺めると、か出来たでしょうか。あの玄のこまのことで、微妙な指の動きと一生懸命に引いて居られる真剣さ等。芸術の芸術は決してなまやさしい事では進めないので。よく私は先生の腕のどへにタコが出来て居るのを見る時、いかに猛練習をされたかを、おぼろけながら知ることが出来ます。君達がおの疎な方面に進むれせよ、現在をもっとく、真剣に真面目に学ば取らなければいけないと思うのです。最後に、雨の中をあさくおいて下さったワルター・ノイック先生にお

礼を申し上げることに。又名曲を聴かせて頂く機会を作って頂く様にお願ひ致します。六月十九日には近衛文相衆議院の学生のための演奏

口腔衛生強調週間に就いて

校医 片岡登

去る六月四日から六月十日まで全国的に口腔衛生強調週間が催されて居ります。即ちムシ歯予防デーのこととあります。

中学生の皆さんは小学校の時代既にいろいろとムシ歯のことには就いてはお聞きになつて居られることと存じます。そこで本日は歯磨き訓練とか、歯の磨き方といったことではなく、よく御存知のこととは者略致しまして中学生として一応知つて置いて頂きたい口腔衛生、そしてムシ歯とは一体どういうものであるかというのとを申上げたいと思ひます。

歯は文化の程度を知るバロメーターであると謂はれて居ます。

健康な歯の作用にはどういうものがあるかと申しますと、先づ

(一) 消化をよくするといふこと

即ち歯の咀嚼、歯でものをよくのみくだくことによる第一の食物の

会があり楽しい一時を過しました。これからの疎なチャンスに恵まれたならば、皆こもつて教養を深めようではありませんか。

場所であり、よくものを噛むという運動です。

前歯で食物をかみきり、奥歯で細かく砕く、そして食物を本来の味にして胃や腸の消化をたやすくする。

他の一つは消化作用と噛みまして口腔の中にある唾液の中に含まれているもの、米飯はパンなどは含まれていない。消化を助ける作用により消化に消化を助けるもの。これらが不十分であると胃腸の負担が重すぎて胃腸が弱つてくるのです。

(二) 味をしらべる、味覚、これには舌です。舌で美味のあることは味の感あるところはいろいろ異なつていて、甘い味は舌の先、苦い味は舌の後方が強く、酸味は舌の縁の後方、しお辛い味は舌の中央が舌縁が強く感じます。

(三) 発音を正しくする、即ち言葉を形づくること、口腔は発音場所として

大切で声帯の振動により母音・子音など或いは又前歯が振動することによって不明瞭になることである。

(四) 歯や顎の發育をよくする。

(五) 歯の磨き方を人に与える。

外観から見ますと真白い歯の清潔と健康さ、明るさといふ点を感じて貰へますが、反対に歯が汚れた又は歯が抜けていたり歯肉が腫れたり歯が揺れたりしたら、どんなに立派な歯をしても健康な美しさは感じられないでせう。

歯の構造

歯はこういう風になつて居る。少年期に抜け変わるものを乳歯、この時代の歯数は二十本抜けて一生涯に渡り使えないものを永久歯といふ。この時代の歯数は三十二本であり、歯を形づくつて居る硬い組織、即ち歯の組織といふのは歯冠(歯の口の中へ現はれて居る部分)を覆つて居るエナメル質(ホーロー質)、根(アゴに植つて居る部分)を覆つて居るセメント質(白豆質)及びその両方の内部にある象牙質の三つが硬い組織でそれらの内部は血管や神経が通つて居る。歯の組織は硬い組織はゆるい組織と呼ばれて居る組織があります。そして歯肉即ち歯齦で囲まれています。歯は歯槽骨といふ骨に埋込んで居る。歯は歯槽骨といふ骨に埋込んで居る。歯は歯槽骨といふ骨に埋込んで居る。

いろいろくわしいことかひひついています
が学問的に直りますので省略させて
頂きます。

歯の病気に就いて申し上げます。即
ち一番多いのは虫歯と歯槽膿瘍です。
歯の病変は知らずくめの内に始まり
徐々に進行する故に、早い時期に処
置を受けると簡単に治る、時期が進
みますとなかなか治りにくい。特に
欠けた歯は自然に歯が増えるといふ
ことはないのです。

又一つ、大切なことは最近新聞やラ
ジオ、雑誌などで言はれていますが
うがいと歯の病気の全身性に
影響があること、それは歯の根に
オデギが出来て慢性の病気になる
歯を抜いては心臓、腎臓の病氣、
或は、神全痛、ロイマス、眼の疾
患などの原因になることがあるので
す。一般には目立たなくなつてつ
い気軽く放置してしまつたりする
ので歯の検査が必要であるといふわけ
です。

日本人の歯の状況は一般に悪く、
全体の八割も虫歯や他の歯の病氣を
持つてゐるといふれています。もち
ろん外国でも多いことです。しかし
早期に手当を加えるために恐しい
結果をみることは外国ではあまりな
いとされてゐます。

虫歯はどうして出来ぬか。

それは歯の間にたまつた食物の残り
が乳酸菌といふ、バイキンの巢になつ
てそこにホーロー質を便するらしい
乳酸菌が発生するからです。即ち米食
へお米を吸べる(食事)が相乗影響し
てゐるといふはれていてその原因は
日本人は米食を中心にした穀物をたぐ
ふ人なへるからではないかといはれ、
アメリカ人は果物、野菜類をたぐさ
んとつてゐることがあはれていま
す。

虫歯を予防するにはまず永久歯は十
才から十八才位まで一番虫歯の発
生が多くあらはれてくるとされ、中
学生の皆さんには特に虫歯のある人
は勿論のこと、ない人でも口腔衛生
そして虫歯の早期発見が必要であ
ります。

虫歯の予防には、先づ口の中を清潔
にすることが大切です。

及べものを入れたあとには、出来るだ
けよく口の中を清潔に保つこと、即
ち舌の表面や歯と歯の間の残りがす
べとり除くことです。

そのためアメリカでは御存知の方も
あると存じますが、三・三・三の口
腔清掃、即ち、一日三回、食後三分

以内は、三分間歯をみがきませうと
いつた意味の運動です。そういうこ
とが遠く喜ばれてゐるやうです。

虫歯予防の方法としては、歯刷牙を
使ふのは勿論ですが、ゆかいも是非

実行すること、手軽に誰にでも出来
ることです。特別に薬品類をとかし
込んでからかき薬を使用しなくとも
番茶でも水でもよろしいのです。

近時医学的に予防の研究が進められ
て昨年二月、京都府山科の浄水場で
水道水に弗素(フッ素)を混入して
それそのむことによつて虫歯の発生
することを予防したりする方法です。
百万分の〇・六の比率で白色粉末の
弗素を投入して実験し、その効果の
判定はまた判つて居りません。非常
に微く弗素入りの水をのんだ人が
大きくなつてから普通の水を育つて
大きくなつた人と、虫歯の出来方に
とれだけ差が出来たか、つまりこれ
だけ虫歯の防げたかを比較しなくて
はなりませんので年月が可成り、
るのです。

歯は帯化ソーダを塗る方法も考へら
れて居ります。

最近では草摺もよくなつて参り、砂
糖分が充分に多すぎる程に出て歯の
病氣もまたふえてきました。

日常生活で歯を丈夫にする食物には
一例をあげますと、

カルシウム……牛乳、かまぼこ
あじし

ビタミンA……のり、はんじん
肝油
ビタミンD……バター、卵
しいたけ

ビタミンC……夏みかん、いちご
白果

等であります。

理想約に申し上げればカルシウムと
リンを結びつけるビタミンDを含ん
だものを豊富にたべて日光によくあ
たること、そして適量の身体運
動を毎日くりかへすこととあります。
つまり歯も自分の身体である、即ち
自分の身体のこととは自分が一番よ
く知つてゐる。

自分自身を大切にすること、
自分の歯を大切にすること、
これが歯の健康に最も大切なことで
あります。



連絡板

七月十三日 学期末考査
全 十七日
全 十七日
全 十八日
全 十九日
全 二十日
父兄会
父兄子の会
夏休